



国立研究開発法人
国立国際医療研究センター

National Center for Global Health and Medicine

国府台

発行人 〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1
国立国際医療研究センター国府台病院長 青柳 信嘉
TEL:047(372)3501 FAX:047(372)1858

2024.8月

第55号



[第45回市川ふるさと祭り]

国府台病院の理念

国立国際医療研究センター国府台病院は、最善の総合医療を提供し、疾病の克服と健康の増進を通じて社会に貢献します。

基本方針

- 診療と研究を統合し、患者の立場を尊重した医療を実践します。
- 高度で先駆的な専門分野の連携に基づく医療を提供します。
- 相互の信頼に支えられたチーム医療を推進します。
- 安全で効率的な医療を提供し、その成果を広く社会に発信します。
- 広い知識を有する良質な医療人の教育と育成に努めます。

目次

◇特集:救急科	2
◇地域医療連携施設のご紹介	3
◇職場紹介～中央検査部生理機能検査室～	4
◇薬剤部長のご挨拶	5
◇臨床検査技師長のご挨拶	5
◇作業療法士長のご挨拶	5
◇栄養管理室長のご挨拶	5
◇管理課長のご挨拶	6
◇医事室長のご挨拶	6
◇耳鼻いんこう科 渡邊診療科長が ベストドクターズに選出されました。	6
◇国府台医療連携フォーラム2024を開催しました	7
◇つくしんぼ保育園の行事	7
◇栄養一口メモ	8
◇編集だより	8

当科は現在専従医2名体制で、救急車で来院される身体疾患の患者さんの初期診療を一手に担っております。何科の病気か分からない場合や、複数部位にわたる外傷の場合などでも、適切な診断や処置を行い、必要に応じて専門科の先生方へ引き継ぎを行います。患者さんが重篤であれば、血圧や呼吸の状態などを安定化させ、集中治療を行う事もあります。あらゆる診療科についての医学的な知識や技術が必要なのはもちろんですが、他科の先生方や地域の医療機関の先生方との連携も不可欠です。さらに、患者さん・ご家族の社会的、経済的状況や、さらに病院や社会全体における医療資源も考慮して診療を行っています。



当科では救急外来での診療以外にも、入院中の患者さんの急変時には率先して救命処置を行います。特にHCU（High Care Unit、高度治療室）に入室されている患者さんについては毎日回診し、必要に応じて主治医の先生方と協力して治療に当たらせていただいております。さらに、院内救急対応の教育活動として、ICLSコース（心停止時の最初の10分間に行うチーム蘇生を学ぶ、日本救急医学会認定のコース）を開催しています。院内の他職種と協働することはもちろん、他施設の救急医療者とも協力して、コース内容の更新や指導者養成コースの提供も行ってまいります。また当院は初期臨床研修指定病院（研修医を教育するための病院）でもあるため、緊急時に必要な手技や診療方法を学ぶための院内勉強会も積極的に開催しています。

救急外来では日々、初対面で命の危険のある患者さんに対峙したり、難解な病態に頭を悩ませたり、コミュニケーションや社会調整の難しさに途方にくれたり、緩急様々な問題に直面します。そうして苦勞した患者さんも、多くの場合はもとの主治医や他科の先生に引き継ぐこととなりますので、元気な姿を見られることは少なく、ほとんど一期一会の関係です。しかし、救急診療はある意味で医療のハイライトと言えるのではないかと考えています。世の中の人々がよりよく生きられるため、セーフティネットの一つとして適切な医療を提供できるように、精進してまいります。

当院では、疾病やケガを治すことはもちろん、さらにその上の価値を提供できるよう取り組んでおります。例えば、小さなお子様には将来的に病院嫌いにならないよう、病院は怖いところではないと思ってもらえることを心がけております。学生の方ならば、それぞれスポーツの試合や文化祭・体育祭・修学旅行などさまざまなイベントがあり、それら青春時代のイベントはかけがえのないものと考え、無駄に休ませることなく、「やりながら治す」をテーマにできる限りの提案をおこなっております。さらに、スポーツでの慢性的な痛みに対してはバランスの悪さなどを確認するため、小さなフィールドを用意して実際にプレーしてもらってのリハビリを行っております。青壮年の現役世代の皆様には、お忙しい中でご来院いただいた貴重な時間

ということを考え、なるべく短期間でニーズに応えることを重視しております。そしてもっとも重要な年代は高齢者です。現在の日本では人生の最期10年でなんらかの介護が必要となっています。いまはこれを支える人材がまだいますが、この先はその人材がいなくなります。そのため、高齢者には人生の最期まで自分の力で、苦痛なく希望をもって生きていただくことを目標にしております。

当然ながら、このような医療体制は自分たちのクリニックだけでは成り立ちません。国府台病院のような大きな設備の整った病院との連携で、国府台病院でなければできないことをお願いし、逆にわれわれでできることをやることで、地域の皆様が困ることなく医療を受けられるよう、その一役を担えると幸いです。



〒272-0837 千葉県市川市堀之内4丁目11-21
TEL : 047-372-1154

職場紹介 ～中央検査部生理機能検査室～

生理機能検査室ではどのようなことが行われているのかご存知でしょうか？ベッドに仰向けとなり衣服をめくりあげるように説明があり、①胸の辺りに冷たい吸盤を何個も付けられたり、②薄暗い部屋で肌にゼリーを塗られて体のあちこちに器具を押し当てられたり。③息を最大限に吸ったり吐いたり無理強いをさせられたり。④頭にベトベトするクリームや紐をたくさん付けられたり……。いやだなあ、と感じる方もいらっしゃるかもしれません。実は、生理機能検査室で行われる検査すべてが、患者さまのご協力あってこそ正確で詳細な検査結果を得ることができるのです。検査の際やお名前・生年月日の確認時、日々ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

生理検査は、心電図検査(①)、血圧脈波検査、腹部・心臓・頸動脈・甲状腺・下肢血管超音波検査(②)、肺機能検査(③)、脳波検査(④)などと多岐にわたります。当院でも数多くの生理検査を実施していて、私たち臨床検査技師は患者さま一人一人と向き合って検査を実施し、病態把握や診断、治療効果判定の一助となりうる検査結果を主治医のもとへ毎日届けています。現在、腹部・甲状腺超音波検査につい

ては専門医師とともに検査を実施し、活発な意見交換を行っています。ちなみに、同じ仲間として多くの臨床検査技師が採血業務、血液検査、尿検査、微生物検査、輸血検査、病理検査と各分野で活躍していますので、当院ホームページの中央検査部 部門紹介も閲覧いただければ幸いです。

最後に、最近始めた取り組みをご紹介します。糖尿病患者さま向けの生理検査リーフレットを対象検査実施の患者さまにお渡ししており、とても好評です。リーフレットは当院糖尿病内分泌代謝内科医師と一緒に作成した当院オリジナルのもので、糖尿病合併症に関する生理検査の詳しい説明やその目的を記してあり、『診察までの待ち時間に目を通していただきたい、ご自身が受けられた生理検査に興味を持っていただきたい、主治医からの結果説明をより多く理解していただきたい、定期的に検査を受けてご自身の病態を把握していただきたい』という思いが詰まっています。今後もいろいろな形で患者さまへ情報発信できればいいと考えていますので、生理機能検査室に是非いらしてください。

薬剤部長のご挨拶

薬剤部長 坂本 治彦



令和6年4月1日付で薬剤部長に着任いたしました坂本治彦です。3月までは神奈川病院で2年間、単身で勤務していました。丹沢山地に囲まれた自然豊かな病院で、近くに富士山と湘南の海があり、仕事とプライベート、両方楽しく取り組める職場環境でした。まだ7月ですが、とても懐かしく思い出します。

さて、当院薬剤部は薬剤師17名で調剤業務をベースに医薬品管理、医薬品情報の提供、抗がん剤調製、薬剤管理指導業務、病棟薬剤業務などを行ってきました。今後も、常に多様化し進歩する医療の中で、個々の患者さまに適正かつ安全な薬物治療が行われよう薬剤部一丸となって業務に取り組んでいきたいと考えています。特に今年度は、国立健康危機管理研究機構(JIHS)の立ち上げと電子処方箋の導入が大きな課題となっています。薬剤部では積極的に取り組みます。

また、薬剤部の発展には、スタッフがやりがいを持って働ける職場であることが何よりも大切と考えています。スタッフが支え合い、生き生きと働き学ぶことができるよう薬剤部長として努力したいと考えています。定年退職までラスト2年間になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

臨床検査技師長のご挨拶

臨床検査技師長 中谷 穂



2024年4月1日付で国立病院機構東京医療センターより着任しました臨床検査技師長の中谷穂(なかに ともひろ)と申します。前施設では、ほとんど精神科の患者さんと接することはなかったのですが、国府台病院に赴任して、こんなにも多くの精神科の患者さんが存在していることを実感し驚きました。勤務して数か月がたち、特に感銘を受けたのは、医師、看護師、各メディカルスタッフ方たちが、患者さんへ安心感を与える対応や、医療スタッフ同士の連携の良さなどを実感しております。とても働きやすい環境に恵まれ感謝しております。今後は、さらに外来・入院患者数が増加することを願い、また臨床にとって必要不可欠となる検査技師を育成し、患者のための検査部を築いていく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

作業療法士長のご挨拶

作業療法士長 齊藤 智之



4月から国立精神・神経医療研究センター病院から着任しました。外来診療部、作業療法士長の齊藤と申します。私の顔を見て「どこかで見たことがあるな」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。実は、2015年から2018年の3年間、国府台病院で勤務しており、6年ぶりにまた戻ってまいりました。

6年前と変わらないリハビリ室を見て、当時の様々な思い出がよみがえってきます。良い思い出も、そうでない思い出も含めて懐かしさを感じつつ、ここでの経験が私の成長に大きく寄与したと感じています。

現在は2北、2南病棟で精神作業療法に従事しております。精神作業療法に関してはこれまで経験が少なく、ご迷惑をかけることもあるかと思いますがその際はご指導のほどよろしくお願いいたします。これからも皆様と協力しながら、患者様の回復に全力を尽くして参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

栄養管理室長のご挨拶

栄養管理室長 中谷 成利



令和6年4月1日より、さいがた医療センターより異動してまいりました栄養管理室長の中谷と申します。前施設は新潟県上越市で、新潟と言えば米どころ、酒どころ、魚どころと、赴任先ではおいしい食べ物を堪能してまいりました。患者さんの食事にも地元の食材を使用し、美味しい食事作りを心掛けておりました。千葉県は初めての赴任になりますが、国府台病院でも、地元千葉県、市川市の食材を使用し、おいしく喜ばれる食事提供に向けて努力していきたいと思っています。また、栄養指導、栄養管理を通して、地域医療に貢献できるよう業務を行ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

誕生月に生理検査を受けましょう

定期的に生理検査を受けることで
糖尿病合併症進行の度合いが評価できます

脳血管障害

頸動脈超音波検査

虚血性心疾患

心電図検査
心臓超音波検査

動脈硬化症

血圧脈波(ABI)検査
頸動脈超音波検査

閉塞性動脈硬化症

血圧脈波(ABI)検査

末梢神経障害

末梢神経障害(DPN)検査

日本で最初の糖尿病患者?
藤原道長

国立病院機構 国府台病院
NCGH National Hospital, National Center for Global Health and Medicine
糖尿病内分泌代謝内科 中央検査部 2022/12作成

心電図検査とは

手足と胸に電極を付けて心臓から発生する電気現象を記録します。
虚血性心疾患や不整脈等の有無がわかります。

心臓超音波検査とは

胸に超音波を送受信する探触子を当てて心臓の様子を調べます。
虚血性心疾患(心筋梗塞や狭心症)や弁膜症等の有無がわかります。

頸動脈超音波検査とは

首に超音波を送受信する探触子を当てて脳に血液を送る頸動脈の様子を調べます。
動脈硬化の程度や脳血管障害の危険度がわかります。

血圧脈波(ABI)検査とは

両腕と両足の血圧を測定して脈の伝わり方や腕と足の血圧を比較します。
動脈硬化(血管年齢)や下肢血管の狭窄(閉塞性動脈硬化症)の程度がわかります。

末梢神経障害(DPN)検査とは

外くるぶしに機械を押し当てて微弱な電気刺激を加えます。皮下の感覚神経(腓腹神経)の反応を調べます。
糖尿病性末梢神経障害の程度がわかります。

管理課長のご挨拶

管理課長 峰岸 健



4月1日付で着任いたしました、峰岸と申します。既に数か月経過しておりますが、様々な案件が重なっており、一部業務において皆様にご迷惑をおかけしているところですので、引き続き課題の解決に当たってまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

さて、前任地は北海道厚生局で、昨年4月に単身赴任となり、せっかくなのでバイクに乗りたいと思い、大型免許を取って、中古で大型のバイクを買いました（免許取得も購入も家族に内緒）。納車初日に転倒して一人で起こせなかった話は省略させていただきます、北海道は11月から降雪となるため、10月下旬には冬季保管サービスに出し、また春になったら道内を走ろうと思っていたところ、1年で異動となり、バイクを置き去りにして赴任したところ。6月中旬にやっとバイクが届きましたので、千葉県内も走ってみたいと思います。先日たまたま『打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？』（実写版）のリバイバル上映を観ましたので、飯岡に行きたいです。

以上、余談にお付き合いいただきありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

医事室長のご挨拶

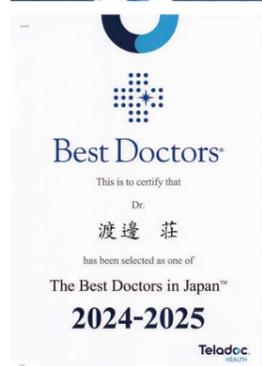
医事室長 藏本 俊夫



この度、令和6年4月1日付で医事管理部医事室長に着任しました藏本と申します。本年3月までは国立病院機構千葉東病院で経営企画室長として3年間勤務しておりました。前病院は慢性期の病院で、急性期病院での医事業務が久しぶりなので日々戸惑いながらも充実して業務にあたっております。医事は患者様と医療従事者をつなぐ調整弁としての役割を担っています。当院に來られる患者様が心地よく受診していただけるような環境を整えていきたいと思ひます。また、私は地域医療連携室の副室長を併任しております。当院にご紹介下さる先生方だけでなく訪問看護師やソーシャルワーカーの皆様の声に耳を傾け、よりよい関係を築いていけるよう尽力してまいります。最後に当院は今年度中に電子処方箋を導入する予定になっております。システムの導入にあたり、地域の薬局・薬剤師の皆様とも顔の見える関係を築いていきたいと思ひしております。どうぞよろしくお願いたします。

耳鼻いんこう科 渡邊診療科長がベストドクターズに選出されました。

耳鼻いんこう科 渡邊 莊（わたなべ そう）診療科長が、医療サービス会社ベストドクターズ社から「The Best Doctors in Japan 2024-2025」に選出されました。



<プロフィール>

- ◆出身大学 筑波大学/昭和大学大学院
- ◆専門 鼻・副鼻腔疾患、耳鼻咽喉科領域のアレルギー疾患、耳鼻咽喉科一般
- ◆主な認定医・専門医等 耳鼻咽喉科専門医・専門研修指導医、アレルギー専門医、補聴器相談医、難病指定医、臨床研修指導医、医学博士

ベストドクターズとは

ベストドクターズ社は米国に本拠を置き、世界各国で症状に応じた適切な治療やセカンドオピニオン取得のための名医紹介などを行っている会社です。

ベストドクターズ社の名医選出方法は、多くの医師に対して「もし、あなたやあなたの家族が、あなたの専門分野の病気にかかった場合、どの医師に治療をお願いしますか？」とアンケートを行い、その中で治療能力、研究結果、最新の医療情報への精通などを考慮したうえで、一定以上の評価を得た医師を名医（ベストドクターズ）として選出するものです。

国府台医療連携フォーラム2024を開催しました

令和6年7月10日、市川グランドホテルにおいて国府台医療連携フォーラム2024SUMMERを開催しました。このフォーラムはコロナ禍であった令和2年から令和4年度まではリモートで行い、令和5年度からはコロナ禍以前の対面で開催を行っています。

今回の連携フォーラムへの参加は、市川市医師会、市川市薬剤師会、近隣病院の先生方を中心に35名と国府台病院職員35名の合計70名の参加となり、直近の医療連携フォーラムの全体の参加者が44名であったことを考えると、コロナ禍から日常へと戻ってきたことが実感でき、非常に盛会で有意義な会となりました。

講演会では、第1部として、もも整形外科の百村 励院長の座長のもと当院整形外科医師の中川量介先生より、「手術治療でよくなる膝と足のお話～お困りのこんな症例、いませんか～」について、第2部として、吉野内科・神経内科医院の吉野英院長の座長のもと当院脳神経外科診療科長の梶原一輝先生より、「一過性脳虚血発作」についての講演が行われました。

その後の意見交換会は、佐々木森雄市川市医師

会長による乾杯の挨拶で始まり、日ごろお世話になっている近隣医療機関の先生方と率直なお話ができ、賑やかなパーティーとなりました。会の途中では、当院から耳鼻いんこう科渡邊莊先生、外科清水篤志先生、心療内科田村奈穂先生と地域医療連携室の紹介をさせていただき、お越しいただいた先生方からは講演会の座長を務めていただいた百村先生に中締め挨拶、吉野先生に締めの挨拶をいただきました。

これからも地域の先生方と顔の見える関係を継続していき、病診・病病連携を強化させていくことで、地域の皆様に安心・安全な医療が提供できる病院として努めてまいります。



つくしんぼ保育園の行事

【人形劇団 ふわふわさん】



つくしんぼ 保育所では、幼児期に人形劇等を鑑賞することにより、豊かな感性や想像力の発達を促し、演じることによって物語の世界を客観的に捉えたり、表現力や協調性等様々な発達を促す効果がある為、年に1回程度、外部より人形劇団等をお呼びしております。

今年度は、市川市で活動されている『人形劇団ふわふわ』さんをお呼びしてこども達にパネルシアターを行っていただきました！

プレイルームにみんな集まりパネルを前にすると、今から何が始まるんだ？と不思議そうな顔のこども達😊



でも、「とんでったバナナ」の歌などに合わせ、パネルに動物たちが出てくると途端にニコニコ笑顔に♥

0歳児や1歳児さんも歌に合わせて体を揺らしたり、最後まで集中して楽しんでいましたよ（途中でちょっと眠くなっちゃったおともだちもいましたが・・・😊）

幼児さんになると次はどうなるのか？ワクワク感いっぱい!! 演者さんとのコミュニケーションも楽しんでいました😊



最後はこども達にもパネルを実際に触らせてくれ、また違った楽しみ方もでき、素敵な体験の出来る行事になりました。



今回のテーマ ～夏といえば!?!甘くて栄養豊富な“ぶどう”に注目!～



8月を迎え毎日うだるような暑さが続き、疲れが出てくる時期になってまいりました。皆様は夏バテなどされていないでしょうか?そんな暑～い8月に旬を迎える食べ物には色々なものがありますが、今回は「ぶどう」に注目していきたいと思います。

秋の果物という印象が強いぶどうですが、品種によっては8月に旬を迎えるものもあります。巨峰系で一番粒が大きい品種の「藤稔」は8月中旬から、お馴染みのシャインマスカットや巨峰は8月下旬ごろから収穫が始まり市場に出回るようになります。ぶどうの産地という山梨県や長野県が有名ですが、千葉県でも栽培されています。千葉県の主なぶどうの産地は東金市、香取市、白井市となっており、各地に様々な果樹園がありますね。きっとぶどう狩りに行かれたことがある方もいるのではないかと思います。8月から旬を迎えるぶどうですが、その年の気象条件や品種によってぶどう狩りのシーズンが変わりますので、ぶどう狩りに行かれる方は果樹園訪問の前にHPやSNSなどで確認したり、問い合わせてみると良いでしょう。

また、実際にお店で購入する時やぶどう狩りをする際に甘くておいしいぶどうを選ぶポイントをご紹介します。まず、「①皮の色が濃いもの」、「②粒がそろっていてハリがあるもの」、「③軸が太くてしっかりしているもの」、「④房から粒が落ちていないもの」、そして「⑤果実の表面にブルーム（白い粉）がまんべんなくついているもの」がポイントとされています。ブルーム（果粉）と呼ばれるぶどうの表面の白い粉は、ぶどう自身が作り出すワックスのようなものです。まんべんなく覆われて

いるものが新鮮で甘く、おいしいとされています。食べる際にも洗い落とす必要はなく、房の上を持って水で流す程度で大丈夫です。

では次にぶどうの持つ栄養についてお話をしていきます。ぶどうの栄養として特徴的なものは、なんとといっても「ポリフェノール」ですね。ポリフェノールには強い抗酸化作用があります。老化や免疫機能低下などに関係する活性酸素の発生を抑制したり、取り除いてくれたりする働きがあります。中でも、ポリフェノールの一種であるアントシアニンが豊富に含まれていて、眼精疲労や視力回復の効果も期待できると言われています。また、ビタミンB1、B2、C、D、Eなどさまざまなビタミンが豊富に含まれているのも特徴です。ポリフェノールと同じくビタミンC・Eにも抗酸化作用があり、動脈硬化や老化を抑制する働きがあります。

一見するととても身体に良さそうなぶどうですが、皆様ご存じの通り糖分もたくさん含まれています。そのため糖尿病の方や生活習慣病の方は摂り過ぎに注意してください。摂り過ぎた糖分が中性脂肪に変換され、体重が増える原因となってしまいます。1日の適量は巨峰やマスカットなど粒の大きいものであれば10粒程度、デラウェアなどの粒が小さいものなら1/2房程度にしましょう。

老化や免疫機能低下を招く活性酸素は、乱れた食事・生活習慣や喫煙、飲酒の他、強い紫外線でも発生するとされています。強い日差しにさらされることが多い夏にこそ、ポリフェノールをたっぷり含んだぶどうを食べて、身体を守っていききたいですね。

編集だより

今回の表紙：市川ふるさと祭り

編集部

子供たちが「ふるさと」を実感できるようにと、市川駅南口のゆうゆうロードを中心に地元の自治会・子ども会・商店会・企業などが協力し開催している祭り。今年は、7月28日（日）開催されました。晴天にも恵まれ大いに賑わってました。

皆さんの中で記憶に残る祭りは何でしょうか、筆者は「亀すくい」が思い出に残ってます。

金魚すくいの亀版で、金魚すくいと違うところは、一匹でもすくと1000円で買い取ってくれるところです。的屋のおっちゃんは何度も手本を見せてくれるのだが、何回挑戦しても一匹も取れないで散財したのが、懐かしい思い出です。

夏は日本各地で祭りや花火大会が大いに盛り上がる時期でもありますので、ひと夏の思い出に出掛けてみてはいかがでしょうか。

